

# 令和2年度事業報告



# 令和2年度事業報告

## 1 事業の概要

令和2年度、阪神福祉事業団では①良質かつ安心・安全なサービスの提供の推進、②将来的展望に立った法人経営及び施設機能の確立、③安定的経営の取り組み、④施設整備等の推進、⑤人材確保、育成への取り組み、⑥地域における公益的な取り組みを重点的課題として取り組んだ。

### (1) 良質かつ安心・安全なサービスの提供の推進

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続き収束が見通せない中で、当法人においても感染症対策マニュアルを策定し、職員への注意喚起、適時家族面会を中止するなど感染防止に取り組んできたが、ななくさ清光園において、令和3年1月18日に利用者の陽性者が確認され、全利用者、職員等にPCR検査を行った結果、全体で利用者、職員等38人の陽性が確認され、クラスターが発生した。西宮市保健所、西宮市法人指導課の指導を受けながら、施設内を陽性者の生活エリア、濃厚接触者の生活エリアに完全に区分し、職員は医療用ガウンで支援にあたるなど、徹底した対策と利用者の経過観察、健康管理に努め、幸いにも重篤化する利用者やさらなる感染拡大もなく2月12日には収束をみた。このクラスターを通して、施設内での感染症蔓延のリスクを全施設が改めて再認識し、さらなる感染症対策に取り組んでいるところである。さらに全施設の看護師を中心に、兵庫医科大学の感染管理認定看護師を講師に新型コロナウイルス感染症対策研修を実施、24人が参加し、感染予防や医療用ガウンの着脱等の技術面を学んだ。

また、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が度々発令される中においても、社会福祉法人の公益的な使命から感染症対策に最大限の注意を払いつつ、可能な限り事業運営を継続し、地域の在宅福祉ニーズ等に応えてきた。

施設の福祉サービスについては、第三者評価機関による客観的な評価に基づきサービスの向上を図るため、令和2年度は、ななくさ学園、ななくさ育成園が福祉サービス第三者評価を受審した。当該施設においては2巡目の受審となったが、前回の受審において明確となった諸課題に対しての改善や維持、管理状況を再度点検し、職員間で情報を共有する中、見直しを進めた。評価結果については、評価基準に対する達成率がななくさ学園で92.9%、ななくさ育成園で98.7%と高評価を得た。

### (2) 将来的展望に立った法人経営及び施設機能の確立

ななくさ育成園では、移転地である宝塚市や関係機関と積極的に情報交換を行い、障がい者の地域生活支援や相談支援など育成園が果たすべき役割・機能について種々の検討を行いネットワークの構築を図った。その結果、令和3年4月から宝塚市より委託相談支援事業を受託し、実施することとなった。

### (3) 安定的経営の取り組み

法人、施設経営においては、各施設とも独立採算運営を基本とし、将来にわたって、自立した経営を推進していくため、コロナ禍の厳しい状況にあっても、感染症対策に留意し

ながら稼働率の維持向上、特定処遇改善加算をはじめとする各種加算の取得など収入の確保に努めた。その結果、令和元年度決算と比較して約50,000千円の増収となり、厚生院の移転改築整備工事や施設の大規模改修等のために積極的な積み立てを実施した。また、障がい関係施設においては、重度障害者支援加算Ⅱの取得要件となる行動援護従事者養成研修の受講について、当法人4施設合同で研修実施機関に法人内講座を委託し、20名の職員が修了することで増収を図った。さらに、診療所において効率的な経営を図るため、令和2年4月から院内薬局から院外薬局へ変更し、大きな混乱もなく移行する中、一定の経営改善を図ることができた。

#### (4) 施設整備等の推進

ななくさ白寿荘いぶき棟大規模改修工事については、当初、令和2年6月着工の予定で入札等の準備を進めてきたが、4月に新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言が発令され、利用者の生活空間で居ながら工事となることのリスクを考慮し、約1年程度延期することとした。しかし、空調設備を始め設備の老朽化が著しく、設備の故障など利用者の安心・安全な生活に支障が生じる懸念があることから、感染症対策に万全を期す中で令和3年2月より、令和4年3月末までの予定で工事を着手した。

ななくさ厚生院移転改築整備事業に関しては、白寿荘いぶき棟の大規模改修工事が延期となったことに伴い当初の計画より1年遅れることとなったが、令和3年3月末に基本・実施設計が完了し、令和4年度の工事着工を目指して、各関係機関と実務的な調整を図っていくこととしている。

#### (5) 人材確保、育成への取り組み

新規採用職員の確保については、就職ナビ、SNSを活用し、福祉系学生のみならず他学部学生等へも積極的にアプローチを行い、オンラインでの説明会や先輩職員とのグループワークを通じて「福祉のしごと」の魅力を積極的に発信した。その結果、令和2年度は年間を通じて61人の学生が施設見学会に参加、採用試験応募者は32人となり、令和3年4月1日付けで17人の新規職員を採用した。これにより令和3年度当初においても、欠員が生じることなく職員を確保することができた。

#### (6) 地域における公益的な取り組み

年度当初に計画していた各種交流行事等については、新型コロナウイルス感染症蔓延防止の観点から中止としたが、代替措置としての地域の関係機関とのオンライン会議や地域の団体の活動に積極的に職員を派遣し、地域との関係を深めてきた。

#### (7) その他

##### 障がい者雇用の取り組み

地域で暮らす障がい者の就労等による社会参加を積極的にサポートするため、令和2年度は1人の職業実習を受け入れた。実習においては、企業在籍型職場適応援助者を中心にアセスメント・評価を行った。また、本事業団の障がい者雇用は令和3年4月1日現在11人、障がい者雇用率は3.46%となり、事業者等に法で義務付けられている法定雇用率2.3%以上の雇用率を達成した。今後も共生社会の推進を担う社会福祉法人の使命を果たすべく、障がいのある方が就労体験等にチャレンジできる機会を提供していくとともに適切な職業生活の支援に努めていく。

## 2 各施設事業報告

各施設の主な事業について、次の通り実施した。

### (1) ななくさ学園（障害児入所施設併設障害者支援施設）

#### ア 良質かつ安心・安全なサービスの提供の推進

##### (7) 年少児支援の充実（新規）

虐待行為等により幼少期に安定した愛着を深める行動が断たれた背景のある年少児に対し、専属の心理担当職員が入所後早期から関係機関と連携して愛着を形成する支援を継続する中で、自己肯定感や信頼感を養い、個々の発達や強みに沿って、評価に基づく分かりやすい支援を実施する中で、年少児の自立支援・生活スキルの向上に努めた。

##### (f) 知的障害児自活訓練事業の実施（継続）

地域で自立した生活を送るために、必要な基本的生活習慣や技術の習得を目的に、自活訓練棟（敷地内単身住居）を活用して、高校2・3年生、計4人に対して取り組んだ。対象者の内、高校3年生2人は就労自立（生活場所はグループホーム）への移行が実現した。

##### (g) 障害児等療育支援事業の実施（継続）

新型コロナウイルス感染症予防対策を行いながら、在宅や他事業所、特別支援学校等で地域の障がい児を対象に、各種療育プログラムを実施し、専門的療育支援のノウハウの提供を図った。夏冬の長期休み期間中のサマースクール（夏休み期間中1回で4人が参加）、ウィンタースクール（冬休み期間中6回で37人が参加）では、長期休み期間中の暮らしと余暇の支援に努め、またオンラインを活用しながら保護者向けの学習会（1回開催で40人が参加）を実施した。また、地域の障がい児宅を訪問し、家庭生活や学校生活の困りごとに対して専門的な支援方法の伝達と実践を65回行い、在宅や学校で安心して過ごせるようにサポートした。

##### (h) 福祉サービス第三者評価受審（継続）

平成29年度に引き続き、2度目の受審を行った。前回の受審以降、毎年エビデンスの確認とPDCAサイクルの検証に努めたことにより、前回より高い評価を受けた。

#### イ 安定的経営の取り組み

##### ななくさ学園における安定的経営の推進（継続）

経営検討会議を定期的に行い、年度末退所の見込みから入所候補者の絞り込みを行うことで稼働率の安定化に努めた。

#### ウ 施設整備等の推進

##### 1階カウンターキッチンの改修及び電話交換機の更新（新規）

破損等により使用不能となっている1階カウンターキッチンをワークルームに改修し、利用者の生活環境の改善と学習・活動支援の充実を図った。また、更新時期となった電話交換機の取り替え工事を行った。

#### エ 人材確保・育成への取り組み

##### 人材の確保・育成に向けての職場内プログラムの推進（継続）

ななくさ学園「職位別研修項目内容一覧」に沿って、①業務支援②利用者支援③専門

的支援④移行期支援の研修を年間計画に沿って実施した。

(2) ななくさ厚生院（救護施設）

ア 良質かつ安心・安全なサービスの提供の推進

(7) 利用者の自立に向けた生活支援の充実（継続）

様々な生活課題を抱える利用者にとって、最適な自立や自己実現が図ることができるよう個別支援計画に基づいた支援を行った。また、地域移行後も安定した地域生活を継続できるように保護施設通所事業の活用などを通してサポート体制を構築し、11名の地域移行を支援した。また、施設におけるサービスの質の向上を目指して平成30年9月に策定された救護施設版サービス第三者評価基準ガイドラインに基づき自己評価を実施した。

(4) 就労準備支援の推進（継続）

職場適応援助者（ジョブコーチ）を中心に就労支援チームを設けて、入所者のみならず、保護施設通所事業対象者も含めて6名の就労準備支援を実施した。時間管理や職場環境への適応、就労意欲の醸成など個々に応じた段階的な目標を設定し、法人内給食センターでの調理補助業務（実習）の実施、企業訪問への同行などの支援を行った。

イ 安定的経営の取り組み

収入の確保と事業の達成確認（継続）

初日付入所者数の月平均は102.3人の稼働となり、定員（100人）を超える利用者を受け入れた。また、施設退所後も居宅で自立生活が送れるように支援することを目的とした保護施設通所事業（通所事業・訪問指導）については、新型コロナウイルス感染症拡大の中で制限せざるを得ない状況もあったが、感染対策を講じた上で出来る限り実施し、稼働率確保に努めた。

○通所事業／1ヶ月平均

令和2年度目標値	令和2年度実績	差異
9人	16.3人	7.3人

○訪問指導／1ヶ月平均

令和2年度目標値	令和2年度実績	差異
12人	9.9人	△2.1人

ウ 施設整備等の推進

(7) 移転改築に向けた計画の推進（継続）

新型コロナウイルス感染症の拡大の影響から、当初の工事実施予定が1年延期となったが、救護施設の役割やその利用者の特性などを踏まえた生活空間のあり方等について設計に反映し、令和3年3月末には厚生院移転改築設計業務（基本・実施設計）が完了した。

(4) 支援システム及びサーバー機器の更新（新規）

支援上不可欠となっているケース日誌や業務日誌のOAシステムについて、導入後8年が経過し不具合が生じてきたため、支援システム及びサーバー機器を更新した。

エ 人材確保、育成への取り組み

職員研修の充実（継続）

ななくさ厚生院研修計画に基づき、福祉系大学の社会福祉学部教授による研修を計画的（5年予定の4年目）に実施し、今年度はチームアプローチについて職員の見識を深めた。

オ 地域における公益的な取り組み

施設機能の発信と展開（継続）

利用者の木工制作活動を活用して、公園清掃に取り組まれている団体に公園の樹木につける木工プレート70枚を、地域の児童センターに子供たちの活動に使用できる木工コースター100枚を寄贈した。

(3) ななくさ育成園（障害者支援施設）

ア 良質かつ安心・安全なサービスの提供の推進

(7) 相談支援事業の充実（継続）

相談支援専門員による施設入所者及び地域の障がい児・者の計画相談に積極的に取り組むとともに、令和3年度に宝塚市から委託相談支援事業を受託する方向であることも鑑み、様々な生活課題を有する困難事案等についても関係機関と連携する中で対応し、地域の中の中核的な相談支援事業所としての機能の確立を目指した。その中で、令和3年4月から宝塚市より委託相談支援事業を受託し、実施することとなった。

(4) 福祉サービス第三者評価の受審（継続）

平成29年度に続き2度目の受審を行った。各項目において前回受審結果から改善項目への取り組みも行い前回評価よりも高い評価結果を受けている。課題として残る項目に対して組織的に取り組んでいくとともに、毎年の自己評価を実施していく。

イ 安定的経営の取り組み

安定的経営管理の確立（継続）

稼働率や個々の利用者の障害支援区分については常に把握・分析し、安定的な収入確保に努めるとともに、特に各種加算については継続的かつ効率的に取得できるように職員の配置などについて調整を行った。重度障害者支援加算Ⅱの取得に関しては、取得要件となる研修受講について、研修実施機関に法人内の講座を委託し、10名の職員が修了し、加算取得の増加に繋げることができた。

ウ 地域における公益的な取り組み

地域ニーズを踏まえた地域貢献事業の準備・実施（拡充）

相談支援事業を中心とした地域ニーズの把握、掘り起こしを踏まえ、地域の様々な社会資源や人材と連携を図りながら、災害支援、地域の防犯、貧困対策、子育て支援などその具体的な事業展開に向けた検討を行った。

令和2年8月に宝塚市と地域交流室を活用する福祉避難所の協定を締結した。また、こども食堂について、宝塚市内の運営者が集まる「子どもと地域の課題を考えるラウンドテーブル」に定期的に参加するとともに、他の運営者が実施する子ども食堂に職員を派遣した。運営状況などの実態調査を行い育成園での開催準備を進め、2月実施で計画

していたが新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み中止となった。

#### (4) ななくさ白寿荘（特別養護老人ホーム）

##### ア 良質かつ安心・安全なサービスの提供の推進

###### (7) 認知症利用者への専門的支援の推進（継続）

今年度も、昨年度に引き続き日本バリデーション協会から講師を招き、合計4日間、延べ49人（実員28人）の職員が研修を受講し、認知症利用者に対する専門的支援のスキルアップを図った。加えて認知症介護実践研修（実践者研修1人、実践リーダー研修3人）にも参加し、職員のスキルアップを図るとともに認知症高齢者への専門的支援を推進した。

###### (4) 利用者の健康管理と医療的ケアの充実（継続）

医務専門職を含めた多職種間の連携を強化徹底していく中で、ご利用者の健康面の変化をデータ化し、このデータをもとに週2回のカンファレンスを開催して、疾病等の早期発見・早期対応に努めた。特に、高齢者の入院要因となりやすい「誤嚥性肺炎」については、口腔ケアや食事場面の介助技術の向上に努めるほか、同様にリスクの高い「褥瘡」や「尿路感染症」「脱水」「肺炎」についても、医療と連携してご利用者個々にあったケアの見直しを重ね、健康で安心・安全な暮らしの提供に努めることで、入院リスクの軽減に繋がった。

##### イ 安定的経営の取り組み

###### 安定的な稼働率の維持と加算取得の継続（継続）

最大限の感染予防に努めながら、他事業所での受入れが困難な利用ニーズに積極的に対応するとともに、関係機関との連携を図り新規利用ニーズの対応に努めた。収支改善に向けては、管理職・相談員・ケアマネジャー・事務担当で、従来から毎月実施している経営改善検討会に加え、新たに毎週月曜日に主任と看護師を加えた調整会を開催し、チームケアによる入院リスク軽減に向けた取り組みの推進や稼働率の向上に向けた受入れ体制の整備、実態に即した介護度の見直しなどの進捗管理を行い、目標値の達成に努めた。入所とショートステイを加えた稼働率は、目標値97%より△1.5%減であるものの、前年比で3.3%増の平均95.6%（前年度92.3%）に改善した。

##### ウ 施設整備等の推進

###### いぶき棟大規模改修工事の実施（継続）

喫緊の課題である「いぶき棟大規模改修」工事については、新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言の影響から、令和2年6月着工を令和3年2月着工に延期した。その間に「施設整備検討委員会」にて、必要物品の選定作業や工事期間中のリスクマネジメントに備えた様々なシミュレーションを実施した。

##### エ 地域における公益的な取り組み

###### 施設機能の提供（継続）

コロナ禍の環境で地域活動が中止される中、地域における福祉の拠点としての役割を發揮していくことを目的に、地域自治会や関係機関とのネットワークづくりを継続し、電話やメール、オンライン会議に参加しニーズの把握に努めた。



認知症高齢者やその家族が、地域で安心して暮らせるための組織づくりのひとつとして平成30年度12月にオープンした「認知症カフェ（にここ丸山カフェ）」は開催が延期されたが、次年度開催に向けての調整に、継続して取り組んだ。

(5) ななくさ新生園（障害者支援施設）

ア 良質かつ安心・安全なサービスの提供の推進

(7) 重度重複障がい者の健康管理と医療的ケアの充実（継続）

職員の医療に対する知識・技術の向上及び利用者個々の身体状況・健康状態に応じた適切な支援が行えるよう、看護師による研修を定期的を実施し、職員一人ひとりの基本的な知識の習得を図った。また、高齢化・重度化に伴い利用者の介護頻度も高くなることから「移行介助」や「移乗介助」の介護技術研修を実施した。さらに理学療法士を講師に迎え、専門研修として「個別支援」に関する研修を実施し、障がいに応じた対応を学び、支援技術の向上を図った。

(4) 相談支援機能の充実（継続）

西宮市から委託を受けた基幹相談支援センターとして、西宮市北部地域における障がいを持つ方への総合的な相談窓口の役割を担った。更に、みやっこ会議（西宮市地域自立支援協議会）の取り組みを通じて地域の社会資源の開発や情報提供、相談支援体制の強化に努めるとともに「北部地域相談支援ネットワーク会議」を継続して実施し、地域のネットワークシステムの構築に努めた。

(6) 障害児等療育支援事業の充実（継続）

西宮市地域自立支援協議会の「ほくぶ会」と連携して、障がいのある方やその家族に対し、音楽療法、障がい者スポーツ活動を継続実施した。今年度より入所部門からも担当者を輩出し、業務移行を行った。

イ 安定的経営の取り組み

収入の確保と支出削減に向けた意識改革の取り組み（継続）

入退所状況に関しては、利用者の重度化・高齢化に伴い、病院・法人内特養への転院・転所等2件の退所があった。一方、入所については地域から1人と、法人内児童施設より2人の入所を進め、目標であった52人の入所を達成した。

ウ 人材確保、育成への取り組み

職員のスキルアップの推進（継続）

新任職員指導員制度に基づく新任職員の育成や施設内での看護・介護技術・PT等による研修、行動援護従事者研修・相談支援研修・サービス管理責任者研修等の専門研修、コロナ禍でのオンライン研修等への受講を進め、職員のスキルアップを図った。

(6) ななくさ清光園（障害者支援施設）

ア 良質かつ安心・安全なサービスの提供の推進

(7) 意思決定支援の充実（継続）

利用者支援では対象者を選定する中、個別プログラムを実施し、より具体的な検討を行い、意思決定のプロセス作りを進め、意思決定支援会議を通じて利用者の意思の

確認作業を行い、個別支援計画の作成に取り組んだ。

(4) 地域との交流の推進(継続)

地域の福祉委員会やその活動への参加及び近隣の福祉法人との意見交換会を行う中で、地域参加を検討すべく取り組みを行ったが、新型コロナウイルス感染症の対策が最優先となり地域住民との交流機会は減少した。しかし、年度後半からは地域、関係機関において3密を回避する中、ウェブ会議、ウェブイベントと実施方法を工夫し、近隣社会福祉法人との三法人会議や地域の福祉委員会等の会議に参加した。

イ 施設整備等の推進

老朽化等による設備機器の更新及び環境整備(新規)

開設以来、利用者の通院、行事等に使用していた8人乗り公用車が導入後18年経過し経年劣化による故障が頻発していたため更新を行った。また、老朽化が顕著となっていた電話機の交換を行いスムーズな業務処理環境を整えた。環境整備面では、周辺的环境も配慮し、高木等職員での整備が困難な植栽について業者による剪定を行った。

(7) 阪神福祉センター診療所

ア 良質かつ安心・安全なサービスの提供の推進

医療サービスの充実(拡充)

歯科衛生士による施設訪問スケーリングを拡充して実施したが、口腔衛生指導については、新型コロナウイルス感染症の影響により、施設訪問日を調整したことなどから前年度実績を下回った。

	歯科衛生実地指導				口腔衛生指導	
	学園	厚生院	育成園	清光園	白寿荘つどい	白寿荘いぶき
延実施人数	138人	314人	281人	179人	292人	378人
指導別人数	912人				670人	
元年度人数	673人				914人	
差	239人				△244人	

加えて精神科医師が施設を訪問し、精神疾患等のある利用者とは対面して日常生活の向上を図るための指示や助言等の働きかけを行う専門療法を延べ1,658人に対して行った。

イ 安定的経営への取り組み

精神科再診料、てんかん指導料の取得(継続)

育成園の移転によって算定が可能になった精神科の再診料、てんかん指導料を継続的に取得し、収入の確保に努めた。再診料は月平均189.3人、てんかん指導料は月平均87.8人の請求を行っている。

(8) 給食センター

ア 良質かつ安心・安全なサービスの提供の推進

利用者に応じた個別対応食の提供(継続)

利用者の高齢化・重度化と共に新規で入所される利用者においても大きな疾病や障

いを持つ方が増加し、複雑困難な食事内容・食事形態のリクエストが施設から多数挙がってくる中で、施設・診療所と共にその都度協議を重ね、対象となる利用者に適切な食事提供を行った。

イ 安定的経営の取り組み

効率的業務の推進（継続）

育成園を含む献立発注の一元管理を実施し、献立の工夫や食材の精査、また徹底した比較見積もりによる食材購入等の結果、厚生院、育成園、白寿荘、新生園の全4施設における総給食費は最終的に93.4%の予算執行となった。

ウ 人材確保、育成への取り組み

調理補助員（障がい者雇用）の受け入れ、人材育成（継続）

2名の調理補助員（障がい者雇用）のそれぞれの働き方についてジョブコーチと連携しながらキャリアアップに向けた取り組みを実施した。

以 上

### **3 令和2年度事業報告の付属明細書**

令和2年度事業報告については事業報告に記載のとおりであり、社会福祉法施行規則第2条の25第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」はない。

### **4 内部管理体制の整備及び運用状況の概要**

法人のガバナンスを確保するために、理事の職務執行が法令及び定款に適合すること並びに社会福祉法人の業務の適性を確保するため、内部管理体制の基本方針を決定しており、その運用の状況は、社会福祉法人阪神福祉事業団内部管理体制の基本方針（令和2年11月17日制定）のとおりである。

## 5 理事会・評議員会の決議案件等

### (1) 理事会決議案件等

理事会で決議した案件及び協議事項は次のとおりである。

議決年月日	審査の方法	議案の番号	議 案 名
R 2. 6. 1	第124回理事会	報告事項 議案第1号 議案第2号 議案第3号	理事長及び常務理事の職務執行状況報告（令和元年度下半期） 令和元年度事業報告及び決算の承認について 令和2年度補正予算（第1号）について 定時評議員会の開催について
R 2. 11. 17	第125回理事会	報告事項 議案第1号 議案第2号	理事長及び常務理事の職務執行状況報告（令和2年度上半期） 内部管理体制の基本方針の制定について 令和2年度補正予算（第2号）について
R 3. 2. 15	第126回理事会	報告事項 議案第1号 議案第2号 議案第3号 議案第4号 議案第5号 議案第6号	障害者支援施設「ななくさ清光園」における新型コロナウイルス感染症に係るクラスター発生の報告について（第2報） 職員給与規則の一部改正について 職員就業規則の一部改正について 嘱託職員就業規則の一部改正について 令和2年度補正予算（第3号）について 令和3年度事業計画及び収入支出予算について 工事請負契約の締結について
R 3. 3. 30	令和2年度第1回 みなし決議	議案第1号	施設長の選任について（ななくさ厚生院長、ななくさ育成園長の選任について）

### (2) 評議員会決議案件等

評議員会で決議した案件及び協議事項は次のとおりである。

議決年月日	審査の方法	議案の番号	議 案 名
R 2. 6. 17	第35回評議員会 (定時評議員会)	報告第1号	令和元年度事業報告及び決算について

### (3) 監事監査の状況

令和2年5月8日、14日に令和元年度の本事業団の業務の執行状況及び収入支出決算等についての監査が、川本、加藤監事によって行われた。

6 職員の任免及び職員数の状況

(1) 施設別・職種別職員数一覧表について

令和3年3月31日

区分			課長等	課長補佐等	係長	事務員	支保 育士 援員	看護師	栄養士	技術職員等	合計
事務局	予算 定数	正規	2	-	-	-	-	-	-	-	2
		嘱託	-	-	-	-	-	-	-	1	1
	実配 置数	正規	2	-	-	-	-	-	-	-	2
		嘱託	-	-	-	-	-	-	-	1	1
学園	予算 定数	正規	1	-	2	1	20	1	0.2	-	25.2
		嘱託	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	実配 置数	正規	1	-	2	1	20	1.2	0.2	-	25.4
		嘱託	-	-	-	-	-	-	-	-	-
厚生院	予算 定数	正規	1	-	3	1	19	1	1	3	29
		嘱託	-	-	-	-	-	-	-	1	1
	実配 置数	正規	1	-	3	1	19	1	1	3	29
		嘱託	-	-	-	-	-	-	-	1	1
育成園	予算 定数	正規	1	-	5	3	50	2	1.8	4	66.8
		嘱託	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	実配 置数	正規	1	-	5	3	51	2	1.8	4	67.8
		嘱託	-	-	-	-	-	-	-	-	-
白寿荘	予算 定数	正規	1	-	5	2	60	7	1	4	80
		嘱託	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	実配 置数	正規	1	-	5	3	64	7	1	4	85
		嘱託	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新生園	予算 定数	正規	1	-	2	1	27	1	1	2	35
		嘱託	-	-	-	-	-	-	-	1	1
	実配 置数	正規	1	-	2	1	26	1	1	2	34
		嘱託	-	-	-	-	1	-	-	1	2
診療所	予算 定数	正規	1	-	-	2	-	1	-	2	6
		嘱託	-	-	-	-	-	1	-	-	1
	実配 置数	正規	1	-	-	2	-	1.8	-	-	5
		嘱託	-	-	-	-	-	-	-	-	-
清光園	予算 定数	正規	1	-	2	2	26	1	1	-	33
		嘱託	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	実配 置数	正規	1	-	2	2	29	1	1	-	36
		嘱託	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	予算 定数	正規	9	-	19	12	202	14	6	15	277
		嘱託	-	-	-	-	-	1	-	3	4
	正規・嘱託計		9	-	19	12	202	15	6	18	281
	実配 置数	正規	9	-	19	13	209	15	6	13	284
		嘱託	-	-	-	-	1	-	-	3	4
正規・嘱託計		9	-	19	13	210	15	6	16	288	

(2) 職員数の推移について

令和3年4月1日

	令和2年4月1日現在職員数	中途退職	中途採用	令和3年3月末	3月末退職	令和3年4月採用	令和3年度4月現在職員数
正規	285	△ 4	3	284	△ 11	17	290
嘱託	5	△ 1	0	4	△ 1	0	3
合計	290	△ 5	3	288	△ 12	17	293

7 施設別各月初日現在在籍者（児）数一覧表

施設名	定員	2年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	3年1月	2月	3月	合計
ななくさ学園	人 45	人 47	人 48	人 49	人 49	人 50	人 50	人 50	人 50	人 50	人 48	人 48	人 48	人 587
ななくさ厚生院	100	105	102	102	100	100	102	101	101	104	103	105	102	1,227
ななくさ育成園	125	123	121	123	123	122	123	124	125	125	125	125	125	1,484
ななくさ白寿荘	165	169	171	170	170	171	174	174	169	171	169	166	163	2,037
ななくさ新生園	50	51	50	50	51	51	51	51	50	50	52	52	52	611
ななくさ清光園	60	61	61	61	62	62	62	62	62	62	62	62	62	741
小計	545	556	553	555	555	556	562	562	557	562	559	558	552	6,687

## 8 施設別入所者数の状況

単位：人

施設	学園	厚生院	育成園	白寿荘	新生園	清光園	合計
定数	50	100	125	165	50	60	550
月平均利用者数	48.7	102.3	122.8	152.0	50.6	60.8	537.2
利用率	97.4%	102.3%	98.2%	92.1%	101.2%	101.3%	97.7%

※月平均利用者数は、在籍者数から入院・外泊を除いたサービス費請求における平均人数。

## 9 在宅福祉サービスの実施状況

### (1) 短期入所事業等

施設名	事業名	年間延べ利用日数等
ななくさ学園	短期入所事業	54日
	日中一時支援事業	266人
ななくさ厚生院	一時入所事業	31日
ななくさ育成園	短期入所事業	568日
ななくさ白寿荘	短期入所事業	5,232日
	通所介護事業（デイサービス）	1,710人
ななくさ新生園	短期入所事業	564日
	日中一時支援事業	22人
ななくさ清光園	短期入所事業	731日
	日中一時支援事業	237人

### (2) 相談支援事業

ア ななくさ清光園 委託相談支援事業（事業地域：尼崎市）

事業	区分	年間延べ件数
相談支援事業 (備考1)	訪問	273件
	外来	54件
	電話・メール等	6,650件
計		6,977件

※サービス調整会議・ケースカンファレンス等 80件

備考1：相談支援事業の主な内容

- ①自閉症・発達障がいや問題行動に対する生活支援、療育活動への導入支援
- ②福祉サービスの利用、本人及び家族の不安解消・情緒安定に関する支援
- ③触法行為のケースや課題を抱えた家族等への支援他、地域生活全般に関する支援（健康、医療、権利擁護等）



イ ななくさ新生園 委託相談支援事業（事業地域：西宮市）

事業	区分	年間延べ件数
相談支援事業 (備考2)	訪問	415件
	外来	99件
	電話・メール等	5,163件
計		5,677件

※サービス調整会議・ケースカンファレンス等153件

備考2：相談支援事業の主な内容

- ①福祉サービスの利用等に関する支援、社会参加、就労等に関する支援
- ②本人、家族の不安の解消・情緒安定に関する支援
- ③その他地域生活全般に関する相談（健康面、医療面等）

(3) 障害児等療育支援事業

ア ななくさ学園

事業	区分	年間延べ件数
障害児等療育支援事業 (備考3)	在宅支援訪問療育等指導事業	120件
	在宅支援外来療育等指導事業	104件
	施設支援一般指導事業	200件
計		424件

備考3：障害児等療育支援事業の主な内容

- ①自閉症・発達障がいや問題行動への療育指導、療育セッション及び家族・施設支援
- ②音楽療法、サマーコンサート、クリスマスコンサート、夏休みや冬休みの障がい児等の活動支援（サマースクール・ウインタースクールの開催）
- ③保護者向け学習会（ななくさ学園公開講座：年3回実施、ペアレンツ・クラブ：年5回実施…計8回実施。保護者等延べ205人が参加）

イ ななくさ新生園

事業	区分	年間延べ件数
障害児等療育支援事業 (備考4)	在宅支援訪問療育等指導事業	32件
	在宅支援外来療育等指導事業	108件
	施設支援一般指導事業	6件
計		146件

備考4：障害児等療育支援事業の主な内容

- ①自閉症・発達障がいや問題行動への療育指導、療育セッション及び家族・施設支援
- ②音楽療法による集団療育活動（阪神福祉センターと近隣地域の2箇所で開催）

## 8 施設別入所者数の状況

単位：人

施設	学園	厚生院	育成園	白寿荘	新生園	清光園	合計
定数	50	100	125	165	50	60	550
月平均利用者数	48.7	102.3	122.8	152.0	50.6	60.8	537.2
利用率	97.4%	102.3%	98.2%	92.1%	101.2%	101.3%	97.7%

※月平均利用者数は、在籍者数から入院・外泊を除いたサービス費請求における平均人数。

## 9 在宅福祉サービスの実施状況

### (1) 短期入所事業等

施設名	事業	年間延べ利用日数等
ななくさ学園	短期入所事業	54日
	日中一時支援事業	266人
ななくさ厚生院	一時入所事業	31日
ななくさ育成園	短期入所事業	568日
ななくさ白寿荘	短期入所事業	5,232日
	通所介護事業（デイサービス）	1,710人
ななくさ新生園	短期入所事業	564日
	日中一時支援事業	22人
ななくさ清光園	短期入所事業	731日
	日中一時支援事業	237人

### (2) 相談支援事業

#### ア ななくさ清光園 委託相談支援事業（事業地域：尼崎市）

事業	区分	年間延べ件数
相談支援事業 (備考1)	訪問	273件
	外来	54件
	電話・メール等	6,650件
計		6,977件

※サービス調整会議・ケースカンファレンス等 80件

備考1：相談支援事業の主な内容

- ①自閉症・発達障がいや問題行動に対する生活支援、療育活動への導入支援
- ②福祉サービスの利用、本人及び家族の不安解消・情緒安定に関する支援
- ③触法行為のケースや課題を抱えた家族等への支援他、地域生活全般に関する支援（健康、医療、権利擁護等）

イ ななくさ新生園 委託相談支援事業（事業地域：西宮市）

事業	区分	年間延べ件数
相談支援事業 (備考2)	訪問	415件
	外来	99件
	電話・メール等	5,163件
計		5,677件

※サービス調整会議・ケースカンファレンス等88件

備考2：相談支援事業の主な内容

- ①福祉サービスの利用等に関する支援、社会参加、就労等に関する支援
- ②本人、家族の不安の解消・情緒安定に関する支援
- ③その他地域生活全般に関する相談（健康面、医療面等）

(3) 障害児等療育支援事業

ア ななくさ学園

事業	区分	年間延べ件数
障害児等療育支援事業 (備考3)	在宅支援訪問療育等指導事業	120件
	在宅支援外来療育等指導事業	104件
	施設支援一般指導事業	200件
計		424件

備考3：障害児等療育支援事業の主な内容

- ①自閉症・発達障がいや問題行動への療育指導、療育セッション及び家族・施設支援
- ②音楽療法、サマーコンサート、クリスマスコンサート、夏休みや冬休みの障がい児等の活動支援（サマースクール・ウィンタースクールの開催）
- ③保護者向け学習会（ペアレンツ・クラブ 保護者等延べ40人が参加）

イ ななくさ新生園

事業	区分	年間延べ件数
障害児等療育支援事業 (備考4)	在宅支援訪問療育等指導事業	32件
	在宅支援外来療育等指導事業	108件
	施設支援一般指導事業	6件
計		146件

備考4：障害児等療育支援事業の主な内容

- ①自閉症・発達障がいや問題行動への療育指導、療育セッション及び家族・施設支援
- ②音楽療法による集団療育活動（阪神福祉センターと近隣地域の2箇所を実施）

## 10 苦情解決の状況

阪神福祉事業団では、社会福祉法人阪神福祉事業団苦情解決事業実施要綱に基づき、各施設施設長を苦情解決責任者に、各施設副施設長を苦情受付担当者にそれぞれ任命し、また苦情解決の客観性、中立性を確保するために、阪神6市1町の民生児童委員7人の方を、第三者委員として委嘱している。また第三者委員に対して、半年に1回苦情解決事業の状況報告を行った。

なお、令和2年3月1日以降の苦情解決事業の状況は次のとおりである。

### (1) 阪神福祉事業団各施設の苦情受け付け状況

#### ア 期間

令和2年3月1日から令和3年2月29日まで

	苦情の件数				合計
	職員の接遇等	利用者処遇	利用者生活環境	その他	
学園					
厚生院					
育成園					
白寿荘		1			1
新生園					
清光園		1			1
合計		2			2

※上記の件数は、様々な要望、苦情等の中で苦情解決事業として受け付けた件数

#### ※主な苦情の内容

- 1 外部の病院で入院中に亡くなられた利用者について、施設内の食事ケアが原因で誤嚥性肺炎を発症し、亡くなったのではと利用者家族が西宮市法人指導課に相談されている旨、連絡が入り対応した。入院先の病院の協力も得る中で看護サマリーや施設のケース記録・ケアプランを開示し、適切な介護を行ってきた旨説明する。結果的に西宮市法人指導課としては指導すべき内容ではなく、介護上のミスはなかったと判断される。
- 2 利用者家族より、「顔に発疹があるため、入念に洗顔支援を行って欲しい」との依頼があるが、その際の対応が不十分であったと、成年後見人及び西宮市法人指導課へ苦情申し立てがあった。後日ご家族と面談し、状況説明・洗顔支援の説明を行う。また、初動の対応について謝罪をする。ご家族了承のもと、西宮市法人指導課へ報告を行い、了解を得る。

### (2) 第三者委員の活動

	実施年月日	内 容	参加人数
第三者委員 報告会	令和2年 10月29日	令和元年度事業報告について 苦情解決の状況報告（前期）と意見交換	第三者委員 7人

※ 後期の第三者委員報告会は、令和3年3月に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症対策に伴い中止となった。

## (3) 第三者委員名簿（阪神福祉事業団共通）

令和3年3月31日現在

市 町	役 職 名	氏 名
尼崎市	民生児童委員協議会連合会 会計	阿部 光子
西宮市	民生委員・児童委員会 理事	本田 三延
芦屋市	民生児童委員協議会 副会長	岩本仁紀子
伊丹市	民生委員児童委員連合会 副会長	阪部 茂和
宝塚市	民生委員・児童委員連合会 常任理事	恒田 貴美
川西市	民生委員児童委員協議会連合会 理事	尾野上一夫
猪名川町	民生委員児童委員協議会 会計監査	東井美知子

## 1.1 リスク管理の状況

## (1) アクシデント報告

分 類	施 設 名	件 数
アクシデント報告 (介護事故等)	ななくさ学 園	24件
	ななくさ厚生院	10件
	ななくさ育成園	66件
	ななくさ白寿荘	116件
	ななくさ新生園	19件
	ななくさ清光園	25件
	合 計	260件

注1 主な内容 服薬 113件 外傷 42件 転倒 39件

注2 うち、施設賠償保険で対応した案件 2件

注3 うち、保険者（市等）に報告した案件 31件

## (2) インシデント報告

分 類	施 設 名	件 数
インシデント報告 (ヒヤリハット)	ななくさ学 園	134件
	ななくさ厚生院	55件
	ななくさ育成園	567件
	ななくさ白寿荘	677件
	ななくさ新生園	164件
	ななくさ清光園	640件
	合 計	2,237件

※ 主な内容 転倒 725件 危険行為 222件 服薬 142件

## 12 研修状況

### センター研修

研修名	参加人数	実施年月日
新任職員研修	19人	令和2年4月1日～3日
内定者研修	22	9月23日
	17	11月25日
	17	令和3年 2月12日
中堅職員研修Ⅰ	—	新型コロナウイルス感染症対策のため 実施せず。
中堅職員研修Ⅱ	—	
中堅職員研修Ⅲ	—	
実務・実践発表大会	—	
新型コロナウイルス等感染症対策研修	24	令和3年 1月26日

### 派遣研修（全事協関係研修）※全施設

研修名	参加人数	実施年月日
第1回近畿ブロック定例会議	/	新型コロナウイルス感染症対策のため 令和2年度は開催中止となる。
第2回近畿ブロック定例会議		
意識改革を促進する研修		
指導者の育成に関する研修		
専門性を向上させる研修会		
防災にかかる研修		

### 派遣研修（全事協関係研修を除く）※事務局・総務課

研修名	主催者	参加人数	実施年月日
会計実務者決算講座 (WEB研修)	全国社会福祉法人経営者協議会	2	令和3年 2月 8日

### 1.3 健康管理及びレクリエーション事業等

#### 健康管理

実施年月日	内容
令和 2年 4月20日～令和 3年 3月 4日	B型肝炎ワクチン接種
令和 2年 6月 8日～令和 2年 6月18日	麻疹・風疹抗体検査
令和 2年 7月 3日～令和 2年 8月 3日	夜間勤務職員健康診断 (白寿荘職員は腰痛検査も実施)
令和 2年 9月23日～令和 2年 9月30日	腰部X線撮影 (直接)
令和 2年11月 2日～令和 2年11月30日	インフルエンザワクチン接種
令和 2年12月 2日～令和 2年12月25日	定期健康診断 (白寿荘職員は腰痛検査も実施)

#### レクリエーション事業

実施年月日	内容	人数	場所
※ 令和2年度のレクリエーション事業は新型コロナウイルス感染症対策により実施せず。 ※ レクリエーション事業交付金を活用して、新型コロナウイルス感染症対策のため、全職員にマスク (2箱)、手指消毒液 (2本) を配布するとともに、インフルエンザワクチンを基本的に全職員が接種することとし、その費用を負担した。			

### 1.4 施設見学状況

区分	令和 2年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和 3年 1月	2月	3月	合計
受入 人数	人 0	0	8	3	6	2	0	1	3	0	0	24	47

